

依存症に関する医療機関調査 概要

愛媛県内の医療機関における依存症（アルコール、薬物、ギャンブル、ゲーム等）の支援内容と関係機関との連携状況を明らかにするため、調査を実施しました。

県内約300カ所の医療機関を対象に調査を行い、約180機関から回答がありました。

そのうち、**依存症の外来対応をしている医療機関は 県内に40機関**です。

依存症の種類別では、9割以上（38機関）がアルコール依存症に対応しています。薬物（医薬品含む）依存症に対応しているのは約半数（19機関）、ギャンブル依存症に対応しているのは約4割（15機関）、ゲーム障害に対応しているのは約3分の1（14機関）となっています。

御了解いただいた**29医療機関の診療情報をホームページに掲載**しています。

依存症の外来対応医療機関 40機関

●地域別にみると、

東予	中予	南予
12	17	11

●依存症の種類別にみると

アルコール	薬物 (医薬品 含む)	ギャン ブル	ゲーム
38	19	15	14

●そのうち、入院対応している医療機関は、約半数の18医療機関

●患者本人が受診した経緯は
多い順に「家族からの紹介で受診」
「自らの意思で受診」
「医療機関からの紹介で受診」
「相談機関からの紹介で受診」

依存症のプログラム・相談支援

●依存症の回復プログラムをしている機関

「個別療法※」は約5割（18機関）

「集団療法※」は約3割（11機関）

※依存対象をコントロールする方法を習得するため、個別又はグループで行う心理療法や作業療法

●患者や家族に対する相談をしている機関

「患者本人の相談」は約4割（17機関）

「家族の相談」は約3分の1（14機関）

紹介・連携関係がある機関

●医療機関への紹介元で多いのは

「かかりつけ医」

「保健所・保健センター・福祉事務所」

●医療機関からの紹介先で多いのは

「専門病院・クリニック」

「自助グループ※・家族会※」

※同じ問題を抱える人やその家族が集まり、仲間と出会い、交流しつつ助け合える場所

依存症の回復のために

- 依存症の受診をお考えの方は、医療機関に御相談ください。
- 身近に依存症の心配のある人がいれば、受診や相談を勧めてください。
- 御本人向けの回復プログラムや、家族相談をしている医療機関もあります。
- 必要があれば、医療機関から専門病院や回復のための自主的なグループ活動を紹介されることもあります。
- 心と体の健康センターでも、依存症の相談を受け付けています。

～ 依存症は、回復可能な病気です ～

